

科目名	フィジカルアセスメント	配当時期	1年次後期	講義担当者
時間割表記名	フィジカルアセスメント	単位数	1単位	坂本めぐみ
		時間数	30 時間(16 回)	(実務経験のある教員)
事前学習内容				
指示されたフィジカルアセスメントに関するワークを行う。(身体の仕組みと働き)				
演習前には技術の動画を視聴する				
授業目標				
1. さまざまな健康レベルにある人に適切な看護を行うために、看護の視点から、対象の身体状態を客観的かつ正確に把握するための知識を理解し、その技術を実践できる。				
2. 身体情報を収集し、頭から爪先まで身体をアセスメントすることができる。				
3. 看護における記録・報告の意義と方法について理解できる。				
DPとの関連				
DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。				
DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。				
授業の流れ				
回	学習内容	方法	備考	
1 2	1. アセスメントとは 2. アセスメントの関係性 1) ヘルスアセスメント 2) フィジカルアセスメント 3) フィジカルイグザミネーション 3. 情報の種類(主観的情報、客観的情報) 4. 情報収集の手段(コミュニケーション、面接、問診) 5. 情報の分析(アセスメント)の実際 6. 情報の伝達 1) 報告の必要性 2) CHECK BACK 3) I－SBAR	講義	テキスト①②③ 資料	
3	7. 看護における観察とは 8. フィジカルアセスメントの意義 9. フィジカルイグザミネーションの実際 1) 問診・視診・触診・打診・聴診とその意味 10. ヘルスアセスメントの意義 11. ヘルスアセスメントの実際 1) 健康病歴聴取 2) 身体各部の測定(身長・体重・胸囲・腹囲)	講義	テキスト①②資料	
4	12. 呼吸器系のフィジカルアセスメント 【呼吸器系のフィジカルイグザミネーション】	講義	テキスト①②資料	
5 6	6. 循環器系のフィジカルアセスメント 【循環器系のフィジカルイグザミネーション】	講義	テキスト①②資料	

7	7. 消化機能のフィジカルアセスメント 【消化器系のフィジカルイグザミネーション】	講義	テキスト①②資料
8 9	8. 呼吸器系、循環器系のフィジカルイグザミネーション	演習(技術)	テキスト①②資料
10	9. 消化器系のフィジカルイグザミネーション	演習(技術)	テキスト①②資料 10回目45分
11	10. 運動機能のフィジカルアセスメント	講義	テキスト①②資料
12	11. 感覚機能のフィジカルアセスメント	講義	テキスト①②資料
13	12. 神経系・高次脳機能のフィジカルアセスメント	講義	テキスト①②資料
14 15	13. 症状・兆候からのアセスメント 14. 症状・兆候からのアセスメントの実際	グループワーク シミュレーション	テキスト①②資料
16	筆記試験(45分)	試験(筆記)	テキスト①②資料
受講上の注意 ○解剖生理学、看護形態機能学、基礎看護技術の知識・技術を踏まえながら講義をすすめる。 ○看護過程展開実習で実践できるように技術の練習を各自行う。			評価方法 筆記試験 レポート
使用するテキスト ①系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 I, 医学書院 ②山内 豊明:著 フィジカルアセスメント ガイドブック:医学書院 ③系統看護学講座 専門分野 医療安全, 医学書院 参考文献 ①: DVD(山内豊明教授のフィジカルアセスメント シリーズ) ②: 系統看護学講座 基礎分野 人間関係論, 医学書院			